

3年人文科学コース シンガポール高校生との交流発表会を開催

5月27日(土)、3年人文科学コースの生徒が、シンガポール教育省語学センターの高校生9名とオンラインで交流発表会を行いました。

発表テーマは両国共通して『日本の社会問題』です。2年生の3学期から本校出身大学生にサポートしてもらいながら、発表準備を進めてきました。本校生徒は英語での発表、シンガポールの生徒は日本語での発表です。当日は高校総体出場者を除く30名に加え、2年人文科学コースの生徒26名も観覧し、寸劇もありながらの楽しい発表会となりました。

発表内容は「出生率を上げるためには」「長時間労働」「自殺対策」など10項目にわたり、データ分析を織り交ぜながら発表しました。日本とシンガポールでは問題意識や意見の食い違いも一部見られ、お互い質疑応答することで理解を深めました。

発表が終わった後は、「日本で流行しているもの」を紹介したり、シンガポールで流行っている日本のTikTokを教えてもらったりなどしながら、和やかな雰囲気での対話を進めました。

この行事は来年以降も継続する予定です。

○生徒の感想

- ・シンガポールの高校生は、日本語のハイスペックさがすごすぎてびっくりした。私も言語学習をもっと頑張ろうと思えた。
- ・和やかな雰囲気で、リラックスして聞くことができた。シンガポール、アメリカの例を挙げていたので、比較しながら考えることができた。
- ・ひとり親家庭の経済負担を減らすために様々な施策がされているが、多様な問題を抱えているためしっかり考えていくことが大切だと思った。また、政府とともに手をさしのべていくべきだとわかった。